

お詫びと訂正

2025 年版 大学赤本シリーズ『関西大学（英語〈3 日程×3 カ年〉）』におきまして、内容の一部に誤りがございました。訂正箇所をお知らせいたしますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

教学社編集部

記

2024 年度 2 月 3 日実施分 解答編 英語 p. 22, 29

大問Ⅱ B. (7) 解答・解説

☐ 誤 解答：C

☒ 正 解答：B

解説：スコット・マクローリンは、無料化が終わる時のことについて不安を抱き、いったん無料にしたものを有料に戻せば大きな混乱が生じるのではないかと懸念している。一方、ブライアン・ケインはバスの無料化には費用が掛かりすぎ、その埋め合わせは困難であると主張している。この2人の意見は対照的であり、よって正解はBとなる。

2024 年度 2 月 4 日実施分 解答編 英語 p. 64, 69, 70

大問Ⅲ B. (2) 解答・解説

☐ 誤 解答：B

☒ 正 解答：A

解説：シモウは店員で、観光客が殺到して忙しすぎるのもう帰ってほしいと述べている。これは観光客の多さを強調するものと考えられる。よってCが最も適切である。

大問Ⅲ B. (5) 解答・解説

☐ 誤 解答：B

☒ 正 解答：C

解説：デブラインが提唱しているのは、チケットをオンラインだけで販売し、価格調

整によって特定の時期に観光客が殺到しないようにする，というものである。これは第4段第3文 (Sustainability is …) に出てくる，観光客に課税しようと考えているバコヤニスと同じような考え方と言ってよい。また，第1段最終文 (“It’ s almost December…”) でキキリアスは「少しずつシーズンを引き延ばすこと」に言及しており，繁忙期以外の時期の旅行を促進するデブラインの提案に，キキリアスは同意すると考えられる。よってCが正解である。

以上